

教室の窓から

チャンピオンへの道

皆さんがこの文章を読んで下さるのは11月下旬。全国(大分県)小中学生書道チャンピオン大会出場を目指して、正しく整った作品が書けるよう一生懸命頑張っていることと思います。そんな皆さんにアドバイス。

一つ目は、「じをかくときのしせい」と「えんぴつのもちかた」「ふでのもちかた」を見直してほしいということです。1年生の時に「あしはぺったん せなかはぴん おなかとせなかにぐうひとつ かみをおさえてさあかこう」「えんぴつつつまんで もちあげて すうつとたおして なかゆびまくら きちんとじょうずにもてたかな」と教えてもらったことでしょう。教科書の「持ち方、姿勢」の写真をよく見て、お友達と見あいこして、良い姿勢、良い持ち方を身に

「へん」になると
どう変わるかな

林 級 調 銀
木 系 言 金

つけてほしいと思います。二つ目は、今書いている課題の文字と同じ書き方のできる文字はないかな、いつも考えながら今月の課題を書くことです。例えば「林」という課題を書いたときに、「へんとつくりのくみたて」についてわかったことがあるでしょう。「木へん」はつくりが書きやすいように右側を短くそろえてゆずっているなど。このことをほかの「木へん」の文字にあてはめて

書いてみる。さらに「系へん」はどうなっているかな? 「金へん」「言へん」はどうなっているかな? としらべてみる。そんな応用に取り組んでいくことが大事です。また、課題を予想するのも楽しみですね。同じように自分の調べた「〇へん」の文字が出たという楽しみもあっていい。こちらの確率はけっこう高いと思います。そんな準備をした人がきつとチャンピオンになるでしょう。

理事 池田英徳(大方)